

令和４年度 事業評価書

会計区分	01	一般会計					事業主体	17300000	健康こども 子育て支援		
大事業	61	6つのまちづくり宣言	—	款項目	03	民生費	02	児童福祉費		01	児童福祉総務費
		目指す姿	政策体系に基づかないその他の事業	K P I					目標値	-	
中事業	04	主要な取り組み	—								
小事業	03	児童虐待予防対策事業		目標年度	令和6年度						

イン
プ
ット

事業実施の 背景にある課題	R4年度、新規虐待相談児童100人のうち52人が虐待と認定され、要対協の管理になった。外国籍は21人で全体の21%になる。また、要対協に管理されている児童は149人で、年々増加傾向である。身体的虐待が多いが面談DVなど心理的虐待も増えている。育児能力の低さや母親の精神的不安による相談が多くなっている。					
事業目的	(1)対象(誰、何を対象にしていますか) 要保護児童等(保護者の養育を支援することが特に必要と認められる児童、保護者に監護させることが不相当であると認められる児童、保護者又は出産後の養育について出産前に支援を行うことが特に必要と認められる妊婦)及びその保護者 (2)目的(事業を行う事で解決すべき課題がどのように改善されるのか) 児童虐待防止啓発及び支援対象児童等を早期に発見し、関係機関と連携して適切な支援を行う。 適切な支援計画の立案、作成、提供を行う。 支援対象児童等と保護者の関係改善や、支援対象児童等に適切な監護を行う。 支援対象児童等の健全な育成を図る。					
事業概要	○児童虐待予防対策事業 ・美濃加茂市要保護児童地域対策協議会、DV防止対策地域協議会を開催する。 ・オレンジリボンキャンペーン等で児童虐待防止をPRする。 ○児童虐待防止対策研修の実施 児童虐待の発生防止及び発見時の対応方法等について研修を行う。 ○子育て短期支援事業(ショートステイ) 児童養護施設で一時的に養育及び保護をする。 ○子ども家庭総合支援拠点の開設のため専門相談員の配置 専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワークを行う。					
事業費(千円)		R02	R03	R04	R05	R06
	予算額	709	11,704	1,456	1,423	
	決算額	457	536	1,139		
年間の事業に要する時間 (正職員/正職員以外)		4,030 /			3,588	

アウト プ ット	活動指標(単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	虐待防止啓発活動	目標値		80	80	80
	実績値		90			

アウト カ ム	K P I (単位)	R02	R03	R04	R05	R06
	3歳以下の新規虐待対応件数	目標値		10	10	10
	実績値		13			



実 績	実績	- 協議会 ・代表者会議1回、実務者会議3回、進行管理会議7回 - 児童虐待防止月間 ・中央・東図書館 展示 ・商業施設での啓発物配布。乳幼児健診時に啓発物配布 - 子育て短期支援事業(ショートステイ) - 利用回数 2歳以上児 2日間
	効果	要支援対象児童等及びその保護者への継続的な支援を通し、児童虐待の再発防止につながった。 児童虐待防止対策及びヤングケアラーの支援体制の整備及び関係機関との連携強化等により、児童虐待等を防止し、児童の健全育成につながった。



評 価 分 析	活動指標分析 目標値の達成 ・未達成要因	乳幼児健診等に参加し、母への育児支援や困り感から関係機関へつなぎ、支援に入ることができた。 虐待防止月間を中心に商業施設でのPR、図書館展示、乳幼児健診での啓発グッズの配布を行った。 ヤングケアラーについて山手小学校5年生に授業を行い、ヤングケアラーについて意識が高まった。
	K P I 分析 目標値の達成 ・未達成要因	3歳未満児の虐待件数が目標値より多かった。母親のメンタル不安定や、養育の幼さ、子どもとの関わり方がわからないという背景がある。
	実績からR05年度の事業の方向性	児童虐待、ヤングケアラーについての周知・啓発を学校など児童や家族と関わる関係機関に継続的に行うことで早期発見、連携の強化を図る。 R5年度はヤングケアラーについて小学校で啓発活動を行う。 また、乳幼児健診やにじいろ面談等、母子への伴走型支援を行う。